

<真剣味>54

2016. 6. 17

お久しぶりでございます。更新しなくなってからもうひと月です。最近このような言葉が続いているように思われます。でも私にするとあつという間でした。その間いろんなことがありました。パソコンのウィンドウズ10が勝手にやってきて、今まで通りの操作では反応しなくなり、大変困っております。また今年も我が家のTシャツを作成することになり、背中が文字が決定しました。それは2016「進化」ということになりました。この言葉を胸に、少しずつ変わっていければと思っています。最後に、最近自分の体重は67Kg位をキープし、BMIの数値も25を下回っています。こんなことは今までないことです。だから本当に嬉しいのですが、ただ本当に健康なのかという少し疑問に思うことがあります。

夏季大会に挑む

私は3度目の挑戦になります。昨年、一昨年と記憶に残る試合をすることができました。結果としては悔しさと私自身の反省が残りますが、選手の成長が伺えるとても良い試合でした。

今年の3年生は5月のNGM大会あたりから少しずつですが、接戦の試合も出来るようになってきています。やはりバッテリーの踏ん張りとみんなで繋ぐ気持ち（自分の役割をこなす）、チームでの約束を徹底することで、このような良い試合もできていると思っています。

野球には絶対がないとされる意外性のスポーツだと思っています。そして弱者イコール敗者でもないはず。だからこそ我がチームは、どんなチームに対しても真面目に挑み、決して気持ちが緩むことなく、最後の最後まで守り、相手のスキをついて勝負に出たいと考えています。そうすればこちら側に良いと思われる結果に繋がる可能性もでてくるはずですよ。

今年の上級生には緊張しやすいタイプの選手が多いので、十分リラックスさせてから試合モードに入っていこうと考えています。

とにかく、まず1勝です。このひとつ目の壁をクリア出来れば、きっと大きく羽ばたけるメンバーだと思っています。そして、昨年、一昨年より記憶に残るどえらい試合をやってくれそうに思っています。十分な準備、適度な緊張の中でのリラックス、そして最後まで挑む強い気持ちで、弱者が勝者になりたいと思っています。

今年の全日本大学野球選手権大会に思う

7年ぶりに我が母校である中京大学が神宮球場に登場しました。2日目の第一試合、9時00分スタートということで神宮球場には行けませんでした。あの立ち襟のユニフォーム姿を見ることが出来て、とても嬉しく思い、鳥肌が立つ感じでした。また36年前私が学生で25名のメンバー入りするために頑張っていたことやもがいていたこと、また悔しさが一瞬のうちに脳裏を駆け巡りました。でもそんな時代があったからこそ今を幸せに感じる事ができるんだと思います。

試合の方は、5対1で完敗でした。相手チーム(奈良学園大学)のスキのない試合運び、投手の切れのあるボール、監督と選手の一体感のある動き・作戦。とても素晴らしい試合でした。

その後、奈良学園大学の野球に興味を持ちビデオを撮り、何度も見返しました。

今まではよくアメリカ・大リーグの試合をビデオし、スピード感・パワフルさなどに興味をもって観ていました。でも今回の大学野球を観ることで、大学生のスピード感、一生懸命さ、さわやかさを感じる事ができ、大学野球をもっともっと観たくなりました。

決勝の中京学院大学対中央学院大学の試合では、奈良学園大学を最終回の大逆転で破った中京学院大学の選手たちは常にこやかでリラックスしている様子でした。もともとの基本が出来ているからなのかノビノビプレーしていました。ファーストストライクからのフルスイングが身に付き、また足の速い選手が多く思えました。対戦相手の中央学院大学の選手たちは、元気があり、野球に対してとにかく一生懸命に取り組んでいました。見習う部分が沢山ありました。

新潟の中学生には、高校野球で燃え尽きることなく、少し高い目標を設定し、大学や社会人の野球に挑戦してほしいとつくづく思いました。そのための土台づくりと考え、今やるべき野球に没頭してもらいたい。7月(エコスタジアム)には新潟で日米大学野球選手権大会が開催されるそうです。